2024年11月29日

各　位

会 社 名　株式会社INFORICH
代表者名　代表取締役社長兼執行役員CEO　秋山 広宣
（東証グロース市場、コード：9338）
問合せ先　取締役兼執行役員CFO　橋本 祐樹
メール： ir@inforichjapan.com

投資家の皆さまからのご質問と当社見解（2024年11月）

日頃より当社へのご関心をいただきありがとうございます。

本開示は、投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、投資家様から頂戴した主なご質問とその回答について、毎月月末を目途に行っているものです。回答内容については、時期のずれによって齟齬が生じる可能性があります。

なお、今月の開示には、一部「2024年12月期 第3四半期決算説明会 質疑応答一覧」（11月15日開示）との重複があります。

※本開示には、11月末時点での情報を記載しております。

Q.1 来年度（2025年12月期）の投資と利益について、どう考えれば良いか。

現在、多くの既存事業が黒字かつ伸びている状態です。オーストラリアと台湾も非常にポテンシャルのあるところだと思っています。そのため、来期もしっかり増収増益をお出しできる可能性は高いと考えています。

一方で、新規事業や新規エリアへの展開や、本社の体制強化のための人員拡充など、投資が必要な部分も多くあると認識しています。中計で掲げているゴール達成のために、必要な投資はしっかりと行っていく必要があると考えています。

Q.2 新規事業（CheerSPOT）の開始に際して、必要な投資はあるか。

CheerSPOTはChargeSPOTのサイネージ画面を活用するものであるため、社内でのアプリ開発などは必要になりますが、大規模な投資は想定していません。

なお、社内のチーム編成のための追加採用や芸能事務所などとのパートナーシップ契約を締結するための費用がかかる可能性はあると考えています。

Q.3 CheerSPOTの今後の売上目標はどの程度か。

既存の企業向けの広告枠販売と、新たに始める個人向けの広告枠販売（CheerSPOT）をあわせて、2026年に2桁億円を目指してまいります。

2025年の業績予想は現在精査中ですが、CheerSPOTによる売上貢献はそれほど大きなものにはならないと想定しています。

Q.4 今後の「ChargeSPOT」の料金改定の方針について。

現時点で次の料金改定について決まっていることはありませんが、定期的に料金について議論する場は設けています。ユーザーの皆様にとって使いやすく、また中長期的にサービスをご提供し続けることができる水準の料金改定・新プランの開始など、多角的な観点から今後も模索してまいります。

Q.5 台湾FC（ChargeSpot Digital Service Co. Ltd.）およびTrim社ののれん償却期間について、どの程度を想定しているのか。また、今後ののれん償却後の利益はどうなる予定か。

償却期間は以下のとおりです。

- 台湾FC（ChargeSpot Digital Service Co. Ltd.）：7年（確定）
- Trim社：5年〜10年程度（監査法人と協議中）

それぞれ、のれんの償却期間によっては初年度は営業利益が赤字になる可能性があります。しかし、今後の成長が想定される企業のため、その場合においても、早期の黒字化を目指してまいります。

【年末年始休みのお知らせ】

2024年12月30日〜2025年1月5日まで、IRに関するお問い合わせへのお答えを休止いたします。

お問い合わせフォームにいただいた内容については6日以降順次お答えいたします。